

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県内各地のふれあいサロン活動拠点を259箇所整備し、地域コミュニティの活性化を支援した。
②	・社会福祉従事職員や民生委員・児童委員等に対する研修を実施し、人材の資質向上を図った。
③	・県内の47校の小中学校において、3,306人の児童生徒を対象に、身体障がいのある当事者や支援者等による出前講座を行い、ユニバーサルデザインの理解促進を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	高齢者等地域支え合い体制づくり支援事業	78,552	終了	81
	地域の福祉力再生事業	7,345	終了	82
②	豊の国福祉を支える人づくり研修事業	24,481	継続	83
	福祉・介護人材確保対策事業	34,217	継続	84
	福祉ボランティア活動活性化事業	16,840	継続	85
③	福祉ボランティア・市民活動推進事業	9,250	継続	86
	県営住宅整備事業	610,314	継続	212
	安心おでかけユニバーサルデザイン推進事業	30,218	継続	87

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H25.7.26) ・あったか・はーと駐車場については、利用者から「このお店にはなぜ無いの」と声が上がるようにするとい。</p>	<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H25.2.20) ・子育て、高齢者対策、在宅医療、災害など地域で連携がとれるような地域の絆づくりへの助成などを実施してはどうか。</p>
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ活動や高齢者のサロン活動の拠点を、介護予防事業や高齢者の健康づくり事業と連携して充実強化し、小地域ネットワーク組織の維持・活性化を図る。 ・高齢化の進展等により介護人材の必要性が高まる一方で、有効求人倍率は上昇傾向にあるため、引き続き福祉・介護職場への多様な人材の参入を促進するとともに、職員の資質向上のための研修等や職場定着の支援を実施する。 ・ユニバーサル社会の構築を促進するため、大分あったか・はーと駐車場の協力施設を、商業施設、社会福祉施設等を対象として拡大するとともに、学校をはじめ、地域や職場でのユニバーサルデザイン出前講座の開催を行い、より一層の推進を図る。